

町内会行事への参加のお願い

町内会連合会会長 梶谷和伸

連日三十度を超える酷しい暑い日が続いていますが、町内の皆様、お変わりなくお過ごしのことと思います。

ご挨拶が遅れましたが、この一年間、町内会連合会会長として選ばれました下組の梶谷和伸です。

町内の皆様には、平素より町内会活動について、ご理解、ご協力を頂いておりますが引き続き、前会長小林徳蔵氏同様ご協力下さいますようお願い致します。

町内会連合会では、年間行事として次のように四項目を大きな行事として計画しております。

- 一、市民ゲートボール大会
二、盆行事
三、町民運動会
四、市民体育大会

校舎と共に

大久野島の臨海学校で 石井哲代

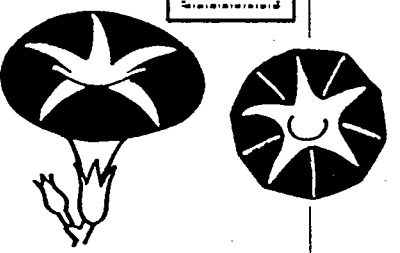


夏休みになりました。あの頃は川も池も奇麗でした。町内のプールでした。遊び場でした。

学期の終わり頃になると、川の藤蔓や伸びている枝は恰好のターザンごっこ用です。枝が折れて川へ落ちた。「石の上を歩いていたら滑った。」とか水泳許可が出ていないので苦しい言い訳をよく聞いたものでした。

夏休み行事として大久野島で臨海学校が開かれました。四五年が参加し素晴らしい三日間でした。六年を中心に丸と丸と丸の人間成長の場だったと思います。スポンジが水を吸うように自立の芽を含んでいる子供達の間にも二十四時間を二十五時間にも二十六時間にも使ったのではないかと思う程、子供達の自主自立の場でした。協調・協同の場であったと思うのです。深小教育実践の場であったと思うのです。

宿泊は料金の安いロッジでした。夕食を済ましてかえった部屋は夕日のぬくもりの消えない熱気がしていましたが、子供達には苦になりません。オリンピックに出場した向井孝博君らが六年生でした。その六年生が男女共室内での遊びをいろいろ考えてくれるのです。その最たるものが柔軟体操だったと思います。大ブリッジ、小



町内の皆様の積極的な参加による盛り上がり期待しております。さて、八月に入り、右の大きな行事の一つであります盆行事が間近に近づいて参りました。実行委員会より改めてご案内いたしますので、多数の方々のご参加を頂きますよう、お願いいたします。

深の歴史

高平ダムの建設 高崎壽郎

尾道市は慢性的な水不足を解消し市民の飲料水を確保のため御調郡深田村大字久山田に水源池を造った。時は大正一四二二四年で、極度給水戸数一万戸、人口三万人を想定したものであった。

ところが、世の移り変わりと共に昭和一〇二二五年頃には市の人口は三万人を突破する勢いとなった。市の上水道確保のための努力は続く。

昭和一〇二二五年 御調郡山中村(深田) 太郎谷上流坂谷の川を堰き止め、溜まり水を久山田水源池へ送水し始めた。そして県や尾道市は「深住民の了解が得られれば防災を兼ねて上組の高平ダムを造らせてほしい」と何度か打診してきた。それが具体的な話になったのは戦後の昭和二六(一九五三)年頃である。その時対応されたのが市議員林哲夫氏である。林氏は、住民の声を聴くべく町民大会を開かれた。

ブリッジなどなど。体の硬直したような下級生は、真剣な真似をするのですがうまくいきません。六年生はこれ又本気で手助けをしてやってくれました。蒲団を敷いても消灯してもなかなか。昼間の水泳訓練もとにかくついて泳いでおりました。島内探険にも金魚のフンのようにくっついていたあの風景。小学校ならこそその、この行事であり、この成果であったと今もあの暑いロッジの部屋での風景と共に蘇るので。

それから臨海学校は毎年行われきました。磯の小さな貝を砂浜で空缶で煮て食べた事など、毎年、毎年いろんなことを体験しました。心と体の糧になっていくと信じておられます。



当時の深町の様子は、深の歴史(三)で書いたように、早害を受け易い土地であることや、昭和一四二二五年の大旱魃を教訓に翌年用水の確保にと苦勞して造った魚切新池が、昭和二〇二二五年の枕崎台風で一夜にして堤防が決壊し元の木阿弥になった苦い経験がある。坂谷取水は尾道市が水利権を持っており、この方法では深は潤わない。地元としては、まとまった用水が欲しい。

町民大会では、水利権の問題で絶対反対という意見も出たが、水利権を深が主に自由にできる方法で尾道市と交渉しようという方向に落ち着いた。そして地元代表者のねばり強い交渉で、住民の意向にそった契約書が、昭和二八二二二五年三月三〇日に三原尾道両市長の間で結ばれた。一尾道市上水道用水取水に関する協約書」がそれで、主な内容は、第一、尾道市の取水する上水道用水は、三原市の地元における灌漑用水の余水とする。第四、ダムの地上一〇米五〇厘までを灌漑用水に充て其の最上位に水道用水管を設け取水するものとする。第六、バルブの操作は灌漑用水の必要量を勘案して地元側が負担する。この経費は尾道市が負担する。

高平ダムの工事は全て尾道市の責任でその年四月に始まり、翌昭和二九二二二五年一月から取水した。尚、坂谷取水と高平取水は、上組向井山接合井で結合し久山田水源池へ、自然流下で送水されている。又、このダム建設に併せて、ダムに通ずる道路の拡張と苗木溜池(新池)の大補修が行なわれた。これを期に結成された、深町水利組合(初代組合長は、三原市長は現在一三〇名で、バルブ操作、ダム内の土砂排除や清掃作業、ダム道路の補修、植樹、(モミジ、サツキ、桜)などの事業を年々黙々とされている。

高平ダムのメリットは何であろう。第一は川がかりの田の早害からの開放。水不足の時、ダムの放水は稲にとっては慈雨そのもの。田圃がじっくり潤ってくる。有難いものである。そして、ダムへの道の整備で、桜・多祖の名滝へ容易に行けるようになったことだ。又、最近では

脳卒中予防に

金堀伍一

この貴重な資料は広島知人から入手したものです。ガンと並んで死亡原因の上位を占める脳卒中は大変恐ろしい病気です。「これを飲めば大丈夫」とのことですのでお伝えします。

本年五月の桜谷付近の山林九ヘクタール余を焼いた火事。防災ヘリがダムの水を汲んで散水したため、延焼を食い止めた。ダムの水が消火にも一役買うことがわかった。終わりに、尾道市水道部の話に、「久山田水源池の水質が悪化してきている。坂谷・高平ダムの送水が多ければ多い程水源池の水質浄化に寄与している」とのこと。

- 一、鶏卵 (二個身付)
二、ふきの葉の汁 (ふきの葉を三、四摘み(七センチ)それきり汁きき三杯)
三、清酒 (小き三杯 焼酎は駄目)
四、梅漬 (二個をすりつぶす。市販し梅干し駄目)
※注意事項
製法は、右の番号順に入れ、一品を入れる毎によく混ぜる。

この飲物は、一生一度飲むだけでよいのです。(同飲せざるはあまじ) 摺り潰す際、摺鉢・摺りこ木を使って下さい。脳卒中予防には是非活用下さい。問い合わせは金堀伍一 三三七三三

うっとうしい梅雨は明け、灼熱の季節となったが一向に晴れ晴れとしない。その理由の一つが、京都の少女誘拐事件。無事保護されホッとしたものの、暗く重い犯罪だった。何の科のない子供が対象だけに卑劣極まりない行為である。▼理由の二つは、指導者を自認する政・官・財に本当の意味での指導者が居ないことによる。政・官・財にまたがる事件・事故に責任者が出て来ないことである。住専・エイズ・空出張等が法の科を受けずに済む不思議さ。▼懲戒免職となつた元長崎県警署警部補が、罪を認めたと上で、自分の処遇に比べ上司が停職三月とは納得できないと長崎県人事委員会に訴えた。▼元警部補のこの訴えは寸劇で終わることは、今迄のこの種事案処理をみれば容易に予測できる。肝心な時「逃げる長」は一体何んなのだらうか。▼中央では行財政改革が声高に叫ばれている。「出来る」確率は限りなく〇に近い。既得権益を改革の為に手放す奇特な指導者が居るとも思えぬ。言葉による指導より結果で示す指導者を持ちたい。



# 初心忘れじ

斎藤哲三

この記事を読んでへさて、何か私と話したことのある内容のものだな」とお気づきになる方が二人おられると思います。今日いくら議論しても決着のつかない子供の教育の問題、なかなか、いじめについて話合ったものです。

前者の方とのその内容の自論というのには「子供は天使であるから敬虔な気持ちで当るべきである」と申し上げた。相手の方は「最近の子供の自由な行動について、その権利を守るべく児童憲章を教育の方針としてあげていく」と言われたのを聞いて、前途にはのかな光明を見出した気分になったのを覚えている。数ヶ月後、後者の方と出会い、同じように天使の話を持ち出したが、その方は「今日の失敗は親の愛情の欠如である」と強調された。

## ペットともグルメ時代

兼長和幸

最近グルメという言葉をよく耳にいたしますが、グルメとは一般的には食通という意味で知られています。

## 小さな親切 実行章受賞

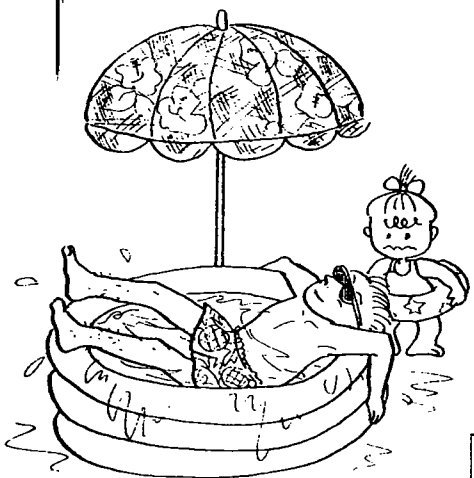
中組松尾講の三阪千代子さん(七九歳)は、手編みの足袋ソックス五〇足を尾道市社会福祉協議会へ寄贈され、三回目の寄贈で一五〇足になりました。新しい毛糸でしかも、手編みとあって足がポカポカ温まるとお年寄りに喜ばれて好評です。心が温まる話です。小さな親切運動尾道支部が本部へ申請し、昨秋尾道市長より実行章の伝達となりました。尚、三原市などのぶんを入れると今までに約七〇〇足も寄贈されました。

(この善行は、尾道市社会福祉協議会関係者の方からの情報提供で判明しました)

## ☆ 盆行事の案内 ☆

町内会連合会

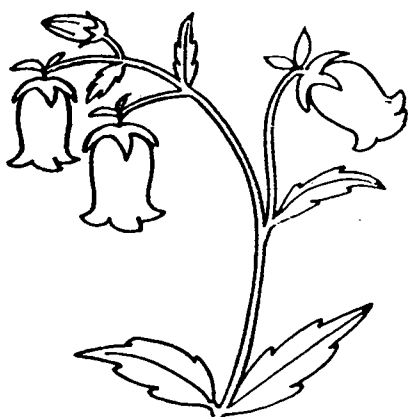
八月一五日(木)午後六時四五分から、小学校で行ないます。催物は例年通りで、午後一〇頃全ての行事が終わる予定です。



そこで私は「人間のやっていることは、総て失敗に終わっています。但し、天使にお仕える気持ちであれば神様か仏様が手を貸して下さるから失敗はないでしょう」と、釘を差した。さて、私の持論の種明かしを簡単にしましょう。

この言葉は仏語(GOURM E.T)で、食通、美食家、酒好き、グルメともいいます。語源的には召使い、酒屋の下男、ボーイをいいます。人間社会のみならず昨今のイヌ、ネコもグルメブームなのです。ペットフードは品種も多様化し、もはや牛肉やマグロは当たり前。サモン、七面鳥と、人間様にとっても高級な素材が使われている。低カロリー・高カルシウムのダイエット志向のものや、味付けを工夫したグルメ志向のものも増えています。

これらのペットフードのほとんどが輸入品なのである。横浜税関によると、昨年の横浜港のペットフード輸入量は、過去最高の八万七千トンで、金額は百十億万円。前年比べて量で四一・三%、金額で四七・三%と大幅な伸びを示したそうである。これらの缶詰をみても「マ



合い緩和されています。性善性に属するものは色々表現されませんが、宗門あたりでは神仏・天帝等、一般には大自然の摂理、宇宙の真理、超人間とかの意志等、一方、性悪性に属するものが我執性から離れることのできない人間を含む生きもの達です。我執性は厄介なもので身近なものから相互に傷つけ合い、五戒、十戒までも犯してしまうからです。これには性善性の力が働いてこの世界は調和されているようです。

北狐は親離れの時壮絶な争いをして別れていくそうです。なんとも素晴らしい働きではないグロとタイのシチュー、チキンとささみ肉、とろみソース等、人間が食べるものと全く変わらないうという。人間との違いは薄味なことぐらい。世の中はペットブーム。多くの方が動物との触れ合いに安らぎを求めている。しかし一方で年間六十万匹の犬猫が「処分」される現実があります。ブームの陰でペットが泣いています。それは勿論飼い主のモラルです。「ペットを飼うことは、家族と同じことなのです。ペットが臨終を迎えるまで責任をもって飼い続けてほしいものです。」

## お願い

深町郷土誌編集室では、深の歴史を調べるための資料集めをしています。古文書等がありましたらおかしください。

連絡先 中組 高崎壽郎まで

六三一四七五六

でしようか。我執性から離れることのできないものでも、性善性の働きを受け入れることによって、不可能を可能にすることが出来ます。それは、性善性より性善性が遙に強いからでしょう。

誰しも事始めの初期は我執より遠退いて、敬虔に念ずる気持ちになるらしいです。私も我が子の誕生ではそうでした。ところが、いつの間にか「わたしの生んだ子だ、わしの気に入るように育てて何が悪い」と、不遜になり、拳げ句の果ては自我の押し付けっ放しで今日まで来ました。

子供は天からのさずかりもの、天からのお使いです。誕生の時の気持ちを忘れないようにしまししょう。この敬虔な初心こそ必ず子育てに成功するでしょう。それは貴方も天使のなれの果てだからです。

## お悔み申し上げます

★新内良子様 八歳 吉二宮

## 八月町内行事予定

- ◆小学校(幼稚園)
  - ▼全校登校(園)日・平和集会 五日
  - ▼登園日 二二日
  - ▼二年登校日 二三日
  - ▼一・三・四・五・六年登校日 二六日
  - ▼PTA環境整備作業 九月一日
- ◆女性会
  - ▼親睦会・上二三日・中三日 下二日
  - ▼役員会 三一日
- ◆消防団
  - ▼ソフトボール大会 四日
  - ▼ヤッサ祭り 警備 九日
- ◆町内会
  - ▼下組・総法要 一九日
  - ▼中組・町民会館清掃 四日

## 設置のお知らせ

町民会館内に、待望の電話が設置されました。(カードでの使用は出来ません。硬貨のみ) 番号 六二一一一四五

